

香美町 ならではの 教育の挑戦

●問い合わせ先 町教育委員会教育総務課

「食べる力」は「生きる力」 ～子どもたちの未来を育む「食育」～

さまざまな経験を通じて、食に関する知識と、バランスの良い食を選択する力を身に付け、健全な食生活を実践できる力を育む「食育」。特に最近では、消費者の健康や安全志向の高まり、ライフスタイルの多様化などから、食育に関する取組が盛んに行われています。

【三つ子の魂百まで】～ふるさと給食の取組～

幼児期に身に付けた食の好みや味覚は、成長してから簡単に変わるものではありません。それは子どもたちの「今」だけでなく「未来」を形づくることとなります。

そうした中、町教育委員会では、次代を担う子どもたちに、食育に加えてふるさとを大切にすることを育んでもらおうと「ふるさと給食」を推進しています。



▲ふるさと給食を味わう児童

【家庭・地域での食育】～広げよう食育実践の輪～

多くの皆さんに支えられ「ふるさと給食」は着実な歩みを進めていますが、最も大切な各家庭での食は核家族化など社会環境の変化により、郷土食や伝統食などが失われつつあるのではないかと危惧されます。

子どもたちが各学校園で学んだことを実践するためには、家庭や地域での食育が欠かせません。

- ・正しい生活リズムで毎日朝ごはん
- ・食事のマナーと感謝の心
- ・栄養バランスのとれた食生活

これらを実践することは、子どもたちだけでなく大人にとっても健康でいきいきと人生を送るために必要不可欠なものです。



▲地域の人の協力を得て、さつまいもの苗を植える園児

【日本一のふるさと給食】

学校給食は、保護者に支払っていただく給食費を材料費に充て、その他、給食を作るために必要な給食センターの維持管理費や人件費などの費用はすべて町が負担して作っています。

現行の給食費は10年以上据え置きにしている間、主食と牛乳の価格の値上げが続いていることに加え、平成26年の消費税増税により副食費が影響を受け、献立の工夫に苦慮している状況でした。

そこで、給食費の値上げを検討する中、子どもを生み育てやすい環境を整えるための政策判断をした結果、町が負担することにし、今年度の予算に300万円の費用を計上しました。

1食あたりわずか10円に相当する金額ですが、安全で安心な地元食材をふんだんに使った「日本一のふるさと給食」の取組をさらに推進していくことができるようになります。

町ではこの他に、但馬牛肉や毎月の「ととの日」にあわせて香住産の魚介類を使った給食を提供するための費用も負担しています。